

**川崎市高齢者外出支援乗車事業（高齢者特別乗車証明書
・高齢者フリーパス）に関するアンケートのお願い**

※70歳以上用

日ごろから、川崎市政に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

川崎市では、高齢者の社会的活動への参加を促進し、もって高齢者の福祉の増進を図ることを目的として、「川崎市高齢者外出支援乗車事業」を実施しています。

全国平均と比べると川崎市は比較的若い都市ですが、高齢化率は本年中にも21%に達する見込みで、本市においても超高齢社会が到来します。人生100年時代を迎える中、高齢者の社会参加のニーズが複雑・多様化していることや、高齢化の進展による対象者の増加に伴い、事業費が年々膨らんできていることなどから、現在、本事業を時代に即した持続可能な制度とするため、本事業の今後のあり方を様々な角度から検討しています。

ついては、このたび、本事業の対象者や、若い世代の方など、幅広い年齢層の市民の皆様を対象に、川崎市高齢者外出支援乗車事業に関するアンケート調査を実施し、検討会議の場などで活用したいと考えておりますので、調査の主旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

◆調査の対象者について

川崎市に在住している方の中から10,000名の方を無作為で選ばせていただきました。

◆個人情報について

アンケートは無記名でご回答いただくものであり、個人識別が不可能な状態で回答内容を集計・分析します。

—ご回答にあたってのお願い—

1. この調査票に、お名前のご記入は必要ありません。
2. ご回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。
3. ご本人によるご記入が困難な場合は、ご家族又はお世話をなさっている方がご記入をお手伝いするか、ご本人の立場に立って、代わって記入してください。
4. あて名の方ご本人が入院・入所している場合も、ご家族等が代わって記入してください。
5. なお回答内容は、年齢や職業を含めて、代筆者ではなく、あて名ご本人のものとしてください
6. 黒の鉛筆かボールペンで記入してください。
7. アンケート調査票は、令和2年8月26日（水）までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

※このアンケートは、パソコンやスマートフォンからも回答が可能です。

詳細については本紙裏面をご確認ください。

【お問合わせ】

川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者在宅サービス課

電話：044-200-2651

FAX：044-200-3926

この調査は、パソコンやスマートフォンからも 回答できます

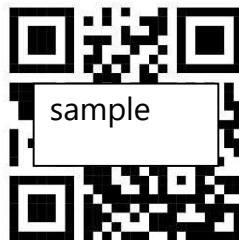
【パソコンやスマートフォンから回答する場合】

- 下記URL、またはQRコードからアクセスいただくと、WEB版から回答できます。
- 回答は、WEB上の表示に従って入力してください。
- 回答の途中保存はできません。回答には15分程度かかりますので、できればお時間の余裕があるときに、ご回答ください。
- WEB版からご回答された方は、本調査票を郵送していただく必要はございません。

【WEB版アンケートURL】

https:// ●●●●●●●●●●

【WEB版QRコード】



問 8 お住まいから最寄りのバス停まで、徒歩で何分くらいかかりますか。(いずれか一つに○)

- | | | | |
|---------|-------------|----------|-------|
| 1. 5分未満 | 2. 5分～15分未満 | 3. 15分以上 | 4. 不明 |
|---------|-------------|----------|-------|

問 9 お住まいから最寄りの鉄道駅まで、徒歩で何分くらいかかりますか。(いずれか一つに○)

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 5分未満 | 2. 5分～15分未満 | 3. 15～30分未満 |
| 4. 30分以上 | 5. 不明 | |

問 10 あなたは自動車やオートバイの運転免許を持っていますか。(いずれか一つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 持っている | 2. 持っていたが返納した |
| 3. 持っていたことはない | |

問 11 あなたが自由に使える自動車やオートバイはありますか。(いずれか一つに○)

- | |
|--|
| 1. 自分が自由に使える自動車やオートバイを持っている |
| 2. 自分が自由に使える自動車やオートバイはないが、送迎してくれる家族や知人が近くにいる |
| 3. 自分が自由に使える自動車やオートバイはなく、送迎してくれる家族や知人は近くにいない |

問 12 今般の緊急事態宣言に伴う外出自粛となる以前、あなたはどのくらいの頻度で外出していましたか。(いずれか一つに○)

- | | | |
|------------|-----------|--------------|
| 1. 週に6～7日 | 2. 週に3～5日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 月に数日 | 5. 年に数回 | 5. 全く外出していない |
| 6. その他 () | | |

問 13 今般の緊急事態宣言に伴う外出自粛となる以前、どのような理由で外出することが多かったですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 日常の買い物 | 2. 通院 |
| 3. 家族や友人に会いに行く | 4. 地域活動やボランティア |
| 5. 趣味・レジャー | 6. 通勤 |
| 7. その他 (具体的に教えてください) | |

[]

問 14 あなたが外出する上で、最も問題だと感じることはなんですか。(いずれか一つに○)

1. 移動手段が少ない
2. 出かけた場所が少ない
3. 一人で出かけることが難しい
4. 出かけるための費用が高い
5. その他(具体的に教えてください)

[]

2. 川崎市高齢者外出支援乗車事業サービスの利用に関してお伺いします。

問 15 あなたは川崎市高齢者外出支援乗車事業サービスを利用していますか。(いずれか一つに○)

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 主に、高齢者特別乗車証明書を利用している | ⇒問 16 へお進みください |
| 2. 主に、高齢者フリーパスを利用している | ⇒問 16 へお進みください |
| 3. 主に、福祉パスを利用している | ⇒問 16 へお進みください |
| 4. いずれも利用していない | ⇒問 19 へお進みください |

<問 15 で「1. 主に、高齢者特別乗車証明書を利用している」、または「2. 主に、高齢者フリーパスを利用している」、または「3. 主に、福祉パスを利用している」と回答された方にお尋ねします>

問 16 高齢者外出支援乗車事業は、あなたの外出などにどのように影響していますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 外出する機会が増えた | 2. 遠くまで出かける機会が増えた |
| 3. 家族や友人と出かける機会が増えた | 4. タクシーや自家用車を利用する機会が減った |
| 5. 気兼ねなく外出できるようになった | 6. 市内の移動が便利で楽になった |
| 7. その他(具体的に教えてください) | |

[]

8. 特に影響があるとは思わない

⇒問 17 へ

問 17 今般の緊急事態宣言に伴う外出自粛となる以前、高齢者特別証明書・高齢者フリーパスまたは福祉パスを利用して出かけたときに、どのくらいお金を使っていましたか。1 回あたりの平均金額(買い物代、飲食代、娯楽費、医療費など)をお答えください。() 内に数字をお書きください。

1 回あたり平均 () 円使う

⇒問 18 へ

<問 15 で「1. 主に、高齢者特別乗車証明書を利用している」、または「2. 主に、高齢者フリーパスを利用している」、または「3. 主に、福祉パスを利用している」と回答された方にお尋ねします>

問 18 高齢者特別乗車証明書や高齢者フリーパスが無くなったら、あなたの外出機会はどの程度減ると思いますか？（いずれか一つに○）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 全く外出しなくなると思う | 2. 1 / 4 程度に減ると思う |
| 3. 半分程度に減ると思う | 4. 3 / 4 程度に減ると思う |
| 5. 変わらないと思う | |
| 6. その他（ | ） |

⇒問 20 へ

<問 15 で「4. 利用していない」と回答された方にお尋ねします>

問 19 高齢者外出支援乗車事業サービスを利用していない理由についてお答えください。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 身体的な事情等からバスを利用できないため | |
| 2. 居住している地域にバスが通っていないため | |
| 3. 主に自家用車を利用しているため | 4. 主にタクシーを利用しているため |
| 5. 主に電車を利用しているため | 6. 金銭的に余裕があるため |
| 7. 制度を知らなかったため | |
| 8. その他（具体的に教えてください） | |

[]

<みなさんにお尋ねします>

問 20 今後、どのような外出支援施策があると、あなたは外出しやすくなると思いますか？（あてはまるもの全てに○）

- | |
|--------------------------|
| 1. 電車やコミュニティバスなど、地域交通の充実 |
| 2. 電車やタクシーの優待乗車制度 |
| 3. 運転免許返納者向けの外出支援施策 |
| 4. その他（具体的に教えてください） |

[]

3. 川崎市高齢者外出支援乗車事業のあり方について、現状を踏まえてお伺いします。

【現状1】 平均寿命の延伸

高齢者外出支援乗車事業は川崎市内の70歳以上の方が利用できる制度ですが、川崎市の平均寿命は、平成30年時点で男性83.72歳、女性90.49歳であり、前回の制度改正直後の平成17年から、男性で4.72歳、女性で4.29歳延びています。

問21 上記を踏まえて、本事業の対象年齢についてどのように考えますか。(いずれか一つに○)

1. 現行のまま(70歳以上)が良い
2. 年齢を引き下げる(例えば65歳以上にするなど)が良い
3. 年齢を引き上げる(例えば75歳以上にするなど)が良い
4. その他(具体的に教えてください)

問22 問21でそのように答えた理由はなんですか。

【現状2】 利用実態の把握困難

本事業は、利用者・バス事業者・市の三者が負担し合うことで成り立っていますが、現在、高齢者特別乗車証明書及び高齢者フリーパスは、いずれも紙の証明書及びパスを使用しているため、正確な利用実態が把握できないことから、今後、正確な利用実態を把握し、適正な費用負担のあり方を検討するため、現在、ICカードやQRコード化などについて議論をしています。

問23 上記を踏まえて、あなたはICカードやQRコード化などにあたって、乗車券機能のほかに、どのような機能があると便利だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 電子マネー機能
2. ポイント機能(社会的活動などに参加するとポイントが貯まり、貯まったポイントを何らかに還元できるなど)
3. 割引機能(提携店舗で提示すると割引きを受けられるなど)
4. その他(具体的に教えてください)

【現状3】 サービス対象者の増加に伴う事業費の増大

高齢化の進展により対象者数が増加していることに伴い、事業費も年々増大しており、現行制度をスタートした平成16年度に約10.5億円であった高齢者外出支援乗車事業費は、令和2年度には20億円に達しました。今後も中長期的な高齢化の進展が見込まれており、さらなる事業費の拡大が予想されます。

問24 上記を踏まえて、今後、本事業をどのようにすべきだと思いますか。（いずれか一つに○）

1. 現行制度を維持するのが良い
2. 現在よりも利用者負担を減らすのが良い
3. 現在よりも利用者負担を増やすのが良い
4. 利用回数に上限を設けるのが良い
5. その他（具体的に教えてください）

{

}

問25 問24でそのように答えた理由はなんですか。

問26 そのほか、川崎市高齢者外出支援乗車事業や、外出支援全般などに関するご意見がありましたらご記入ください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、無記名のまま切手を貼らずに、

令和2年8月26日（水）までに、ポストに投函してください。

川崎市高齢者外出支援乗車事業（高齢者特別乗車証明書
・高齢者フリーパス）に関するアンケートのお願い

※70歳未満用

日ごろから、川崎市政に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

川崎市では、高齢者の社会的活動への参加を促進し、もって高齢者の福祉の増進を図ることを目的として、「川崎市高齢者外出支援乗車事業」を実施しています。

全国平均と比べると川崎市は比較的若い都市ですが、高齢化率は本年中にも21%に達する見込みで、本市においても超高齢社会が到来します。人生100年時代を迎える中、高齢者の社会参加のニーズが複雑・多様化していることや、高齢化の進展による対象者の増加に伴い、事業費が年々膨らんできていることなどから、現在、本事業を時代に即した持続可能な制度とするため、本事業の今後のあり方を様々な角度から検討しています。

ついては、このたび、本事業の対象者や、若い世代の方など、幅広い年齢層の市民の皆様を対象に、川崎市高齢者外出支援乗車事業に関するアンケート調査を実施し、検討会議の場などで活用したいと考えておりますので、調査の主旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

◆調査の対象者について

川崎市に在住している方の中から10,000名の方を無作為で選ばせていただきました。

◆個人情報について

アンケートは無記名でご回答いただくものであり、個人識別が不可能な状態で回答内容を集計・分析します。

—ご回答にあたってのお願い—

1. この調査票に、お名前のご記入は必要ありません。
2. ご回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。
3. ご本人によるご記入が困難な場合は、ご家族又はお世話をなさっている方がご記入をお手伝いするか、ご本人の立場に立って、代わって記入してください。
4. あて名の方ご本人が入院・入所している場合も、ご家族等が代わって記入してください。
5. なお回答内容は、年齢や職業を含めて、代筆者ではなく、あて名ご本人のものとしてください
6. 黒の鉛筆かボールペンで記入してください。
7. アンケート調査票は、令和2年8月26日（水）までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

※このアンケートは、パソコンやスマートフォンからも回答が可能です。

詳細については本紙裏面をご確認ください。

【お問合わせ】

川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者在宅サービス課

電話：044-200-2651

FAX：044-200-3926

この調査は、パソコンやスマートフォンからも 回答できます

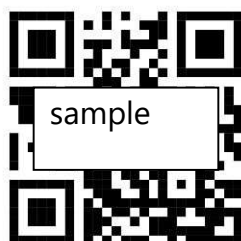
【パソコンやスマートフォンから回答する場合】

- 下記URL、またはQRコードからアクセスいただくと、WEB版から回答できます。
- 回答は、WEB上の表示に従って入力してください。
- 回答の途中保存はできません。回答には15分程度かかりますので、できればお時間の余裕があるときに、ご回答ください。
- WEB版からご回答された方は、本調査票を郵送していただく必要はございません。

【WEB版アンケートURL】

https:// ●●●●●●●●●●

【WEB版QRコード】



1. あなたについてお伺いします。

問1 年齢を教えてください。※令和2年7月末時点。(いずれか一つに○)

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 20～24 歳 | 2. 25～29 歳 | 3. 30～34 歳 | 4. 35～39 歳 | 5. 40～44 歳 |
| 6. 45～49 歳 | 7. 50～54 歳 | 8. 55～59 歳 | 9. 60～64 歳 | 10. 65～69 歳 |

問2 性別をお答えください。(いずれか一つに○)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問3 お住まいの区をお答えください。※令和2年7月末時点。(いずれか一つに○)

- | | | | | | | |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 川崎区 | 2. 幸区 | 3. 中原区 | 4. 高津区 | 5. 宮前区 | 6. 多摩区 | 7. 麻生区 |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|

問4 世帯構成についてお答えください。(いずれか一つに○)

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 単身(一人暮らし)世帯 | 2. 夫婦(二人暮らし)世帯 | 3. 親・子の2世代世帯 |
| 4. 親・子・孫の3世代世帯 | 5. その他() | |

問5 お仕事の状況についてお答えください。(いずれか一つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. 会社・団体等の役員 | 3. 派遣社員・契約社員 |
| 4. パート・アルバイト | 5. 自営業 | 6. 学生 |
| 7. その他() | | 8. 働いていない |

問6 あなたは、普段、交通系 IC カード (Suica・PASMO など) を利用していますか。(いずれか一つに○) ※利用していない方は、利用していない理由までお書きください

- | |
|---|
| 1. 交通系 IC カード (Suica・PASMO など) を利用している |
| 2. 交通系 IC カード (Suica・PASMO など) を利用していない
→ 利用していない理由
() |

問7 あなたは、普段、スマートフォンを使用していますか。(いずれか一つに○)

- | |
|--------------------|
| 1. スマートフォンを利用している |
| 2. スマートフォンを利用していない |

問 8 お住まいから最寄りのバス停まで、徒歩で何分くらいかかりますか。(いずれか一つに○)

- | | | | |
|---------|-------------|----------|-------|
| 1. 5分未満 | 2. 5分～15分未満 | 3. 15分以上 | 4. 不明 |
|---------|-------------|----------|-------|

問 9 お住まいから最寄りの鉄道駅まで、徒歩で何分くらいかかりますか。(いずれか一つに○)

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 5分未満 | 2. 5分～15分未満 | 3. 15～30分未満 |
| 4. 30分以上 | 5. 不明 | |

問 10 今般の緊急事態宣言に伴う外出自粛となる以前、あなたはどのくらい外出していましたか。(いずれか一つに○)

- | | | |
|------------|-----------|--------------|
| 1. 週に6～7日 | 2. 週に3～5日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 月に数日 | 5. 年に数回 | 5. 全く外出していない |
| 6. その他 () | | |

問 11 今般の緊急事態宣言に伴う外出自粛となる以前、どのような理由で外出することが多かったですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 日常の買い物 | 2. 通院 |
| 3. 家族や友人に会いに行く | 4. 地域活動やボランティア |
| 5. 趣味・レジャー | 6. 通勤 |
| 7. その他 (具体的に教えてください) | |

[]

2. 川崎市高齢者外出支援乗車事業サービスについてお伺いします。

問 12 あなたは、川崎市高齢者外出支援乗車事業を知っていましたか。(いずれか一つに○)

1. 高齢者特別乗車証明書だけは知っていた
2. 高齢者フリーパスだけは知っていた
3. 高齢者特別乗車証明書も高齢者フリーパスも知っていた
4. 高齢者特別乗車証明書も高齢者フリーパスも今回初めて知った

問 13 あなたのご家族で、川崎市高齢者外出支援乗車事業サービスを利用している人はいますか。(いずれか一つに○)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 利用している人がいる | ⇒ 問 14 へお進みください |
| 2. 利用している人はいない | ⇒ 問 15 へお進みください |

<問 13 で「利用している人がいる」と回答された方にお尋ねします>

問 14 ご家族が川崎市高齢者外出支援乗車事業サービスを利用することで、あなたやご家族にどのような影響がありましたか。

1. (サービスを利用している) 高齢のご家族の外出が増えた
2. 交通費の負担が減った
3. 高齢のご家族を送迎する機会が減った
4. 高齢のご家族が自動車を運転する機会が減った
5. その他 (具体的に教えてください)

- [
6. 特に影響は感じない
 7. わからない
-]

3. 川崎市高齢者外出支援乗車事業のあり方について、現状を踏まえてお伺いします。

【現状1】 平均寿命の延伸

高齢者外出支援乗車事業は川崎市内の70歳以上の方が利用できる制度ですが、川崎市の平均寿命は、平成30年時点で男性83.72歳、女性90.49歳であり、前回の制度改正直後の平成17年から、男性で4.72歳、女性で4.29歳延びています。

問15 上記を踏まえて、本事業の対象年齢についてどのように考えますか。(いずれか一つに○)

1. 現行のまま(70歳以上)が良い
2. 年齢を引き下げる(例えば65歳以上にするなど)が良い
3. 年齢を引き上げる(例えば75歳以上にするなど)が良い
4. その他(具体的に教えてください)

[]

問16 問15でそのように答えた理由はなんですか。

[]

【現状2】 利用実態の把握困難

本事業は、利用者・バス事業者・市の三者が負担し合うことで成り立っていますが、現在、高齢者特別乗車証明書及び高齢者フリーパスは、いずれも紙の証明書及びパスを使用しているため、正確な利用実態が把握できないことから、今後、正確な利用実態を把握し、適正な費用負担のあり方を検討するため、現在、ICカードやQRコード化などについて議論をしています。

問17 上記を踏まえて、あなたはICカードやQRコード化等にあたって、乗車券機能のほかに、どのような機能があると便利だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 電子マネー機能
2. ポイント機能(社会的活動などに参加するとポイントが貯まり、貯まったポイントを何らかに還元できるなど)
3. 割引機能(提携店舗で提示すると割引を受けられるなど)
4. その他(具体的に教えてください)

[]

【現状3】 サービス対象者の増加に伴う事業費の増大

高齢化の進展により対象者数が増加していることに伴い、事業費も年々増大しており、現行制度をスタートした平成16年度に約10.5億円であった高齢者外出支援乗車事業費は、令和2年度には20億円に達しました。今後も中長期的な高齢化の進展が見込まれており、さらなる事業費の拡大が予想されます。

問18 上記を踏まえて、今後、本事業をどのようにすべきだと思いますか。（いずれか一つに○）

1. 現行制度を維持するのが良い
2. 現在よりも利用者負担を減らすのが良い
3. 現在よりも利用者負担を増やすのが良い
4. 利用回数に上限を設けるのが良い
5. その他（具体的に教えてください）

{

}

問19 問18でそのように答えた理由はなんですか。

問20 そのほか、川崎市高齢者外出支援乗車事業や、外出支援全般などに関するご意見がありましたらご記入ください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、無記名のまま切手を貼らずに、

令和2年8月26日（水）までに、ポストに投函してください。